

質問事項に対する回答書(その他の事項に関すること)

(件名) 磐越自動車道 中野川橋下部工工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	7月29日	特記仕様書	29	26-4	構造物掘削 普通部B六郎次川橋の4)について、P1橋脚の埋戻しが見当たりません。計上する単価項目をご教示願います。	構造物掘削 普通部B2の4)に含まれるものとお考え下さい。また、構造物掘削 普通部B2には工事用道路 中 STA.741+80～STA.743+12への運搬、敷均し、締固め、整形、仕上げ、含水比の調整等も含まれるものとお考え下さい。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
2	7月29日	特記仕様書	34	26-10	鉄筋工の加工組立単価について。令和7年積算基準では市場単価が採用されますが、市場単価は令和8年1月版まで公表され、令和8年4月版で廃止となりました。当工事で採用される基準をご教示願います。 ① 市場単価 令和8年1月版 ② 国交省積算基準 令和8年版 ③ NEXCO土木工事積算基準 令和8年7月版 ④ その他(参考積算証券書で歩掛内訳公表)	参考積算条件書(その1) 3. 土木工事積算基準および単価の適用年月等に記載の通り、土木工事積算基準適用年月は令和7年7月になります。物価資料等につきましては、適用可能なものを適用ください。
3	7月29日	金抜設計書	9	97	軽量盛土工B1 コンクリート床版の単位が面積(m2)で表記されていますが、体積(m3)ではないでしょうか。工事用道路47/105ページ数量表では、コンクリート床版4,642.6m2、床版コンクリート719.4m3と記載されています。	数量明細表および金抜設計書の97特-(3)軽量盛土工B1の単位はm3とお考え下さい。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
4	7月29日	特記仕様書	44	26-19	軽量盛土工B1の区分内容の溶接金網φ6mm@150×150は図面数(47・48/105)量表鉄筋D13—150×150を示していますか。ご教示願います。	特記仕様書26-19軽量盛土工B1に記載の「溶接金網φ6mm@150×150」は図面(47・48/105)数量表「鉄筋D13—150×150」とお考え下さい。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
5	7月29日	参考積算条件書(その1)	2	1	参考積算条件書(その1)「④その他材料」に記載される価格(円)は、運搬費を含む現場着の引渡し単価と考えてよろしいでしょうか。	参考積算条件書の表紙に記載のとおり、掲載内容についての質問・問合せには応じられません。 なお、仮設材運搬費の内容は特記仕様書27-2割掛対照表の項目に示す工事の内容に示すとおりです。
6	8月6日	特記仕様書	42	26-18	(3)施工「撤去し、現場内の施工の支障とならない場所に仮置きを行うものとする。なお、処分については別途監督員と協議」との記載です。再利用撤去ではなく廃材処分撤去と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	特記仕様書26-18(3)施工に記載のとおり、仮置き後の処分については別途監督員と協議するものとしていますので、再利用を前提とした撤去を行うとお考え下さい。
7	8月6日	特記仕様書	44	26-19 軽量盛土工 B1	金抜設計書 97 特-(3)軽量盛土工B1の数量719m2との記載です。06-04.設計図(土工)の1工区 軽量盛土工 構造図(1)の軽量盛土 材料表では、コンクリート床版4642.6m2でコンクリートB2-1 719.4m3との記載があります。金抜設計書の単位をm3と読み替えればよろしいでしょうか。ご教示ください。	当回答書(番号3)のとおりです。
8	8月6日	特記仕様書	44	26-19 軽量盛土工 B1	区分内容に鉄筋、溶接金網φ6mm@150×150との記載があります。06-04.設計図(土工)の1工区 軽量盛土工 構造図(1)の軽量盛土 材料表では、鉄筋D13—150×150 69.491t、鉄筋SD345 D13 6.346tとの記載があります。溶接金網φ6mm@150×150とは、鉄筋D13—150×15069.491tと考えればよろしいでしょうか。ご教示ください。	当回答書(番号4)のとおりです。
9	8月6日	特記仕様書	38	26-15 交通規制工	「②規制時間とは、1回当たりとして検測する交通規制工のうち、規制設置時間(標識設置開始)から規制撤去完了(標識撤去完了)までの時間」と記載があります。③施工可能時間(9:00～17:00)とすると撤去前の点検30分を考慮すると規制時間は8:30～18:00になると考えます。ご教示ください。	ご認識のとおりです。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
10	8月6日	特記仕様書 設計図(位置図)	特記仕様書38 設計図(位置図)9/9	26-15 交通規制工 配置場所及び人数	交通保安要員の配置場所及び人数については設計図に示すことから交通規制図 路肩規制Aの規制材数量表では、交通監視員2.0名(常時配置1名＋交代要員1名)と交通監視員(別途検測)である出入口の1名との記載があります。土木工事積算基準25-3路肩規制では、4名の配置(出入口含み、交代要員含まない)となっています。当該工事では、2.0名(常時配置1名＋交代要員1名)の配置で計画されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	設計図面に記載のとおりです。
11	8月6日	特記仕様書	47	26-20 工用仮橋 材料区分	H型鋼、溝型鋼、等辺山形鋼の材料区分で購入品(中古品)との記載があります。H-700、H-800、H-900、溝型鋼及び等辺山形鋼は、中古品の流通がない場合は、特記仕様書記載の『上表に示す調達地域から調達が困難な場合は、本特記仕様書27-8「材料調達に伴う変更」により取り扱いに該当する』と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	特記仕様書27-8-1対象となる資材等に示すとおりです。
12	8月6日	設計図 (橋梁下部工・六郎次川橋)	54/63	A1橋台土留工構造図	親杭H-400×400×13×21(継手1箇所)長さ13.500mにおいて、スクラップ長は6m未満になります。スクラップを考慮していただいていますか。ご教示ください。	スクラップ長以下となる部材については、購入費用(中古品相当価格＋スクラップ分控除額)を計上願います。なお、スクラップで計上する部材長については、貴社の施工計画に基づきお考えください。
13	8月6日	金抜設計書	7	鉄筋工	当工事の土木工事積算基準適用年月は、令和7年7月版です。鉄筋工は市場単価方式となっています。令和8年4月から物価資料から鉄筋工の市場単価の掲載がなくなりましたので準用基準をご教示ください。また、全体スライドやインフレスライドへの対応はどのように考えればよろしいでしょうか。ご教示ください。	当回答書(番号2)のとおりです。 なお、スライド条項については、契約書第26条に示すとおりです。
14	8月6日	特記仕様書	32	26-5	盛土工について他工事流用土の積込・運搬は不要との理解でよろしいでしょうか、ご教示ください。	ご認識のとおりです。
15	8月6日	特記仕様書	41	26-17	立木伐採工-立木等処理Aについて、立木の比重が不明ですのでご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
16	8月6日	特記仕様書	42	26-18	撤去工について、仮置きは現場内の支障とならない場所とありますが運搬は見込まれているのでしょうか、ご教示ください。	撤去位置近傍に仮置き可能と想定していますので運搬費は計上していません。
17	8月6日	金抜設計書	9、10	108特-(4)工用仮橋 基礎ぐいN 設置、 112特-(4)工用仮橋 基礎ぐいR 設置	工用仮橋-基礎ぐいN・R設置について、適用基準類が不明ですのでご教示ください。	ダウンザホール工法になります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
18	8月6日	金抜設計書	9、10	108特-(4)工用仮橋 基礎ぐいN 設置、 112特-(4)工用仮橋 基礎ぐいR 設置	工用仮橋-基礎ぐいN・R設置について、杭の質量(127本200.036t、69本58.910t)はお間違えないでしょうか、ご確認お願い致します。	下部工に含まれている支持杭の一部が基礎ぐいの誤りでした。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
19	8月6日	金抜設計書	9、10	108特-(4)工用仮橋 基礎ぐいN 設置、 112特-(4)工用仮橋 基礎ぐいR 設置	工用仮橋-基礎ぐいN・R設置について、プレートとボルト・ナットの内訳(サイズ・種類・規格など)が不明ですのでご教示ください。	土木工事積算基準第6編仮設工6-9工用仮橋橋杭橋脚に示すとおりです。
20	8月7日	特記仕様書	29～31	26-4 構造物掘削 特殊部B1 特殊部B2	構造物掘削における親杭および腹起しの仮設材運搬費については、割掛対象項目ではなく、該当する単価項目に計上するものと考えてよろしいでしょうか。ご教示頂けますでしょうか。また、運搬距離(片道)の設定についても、併せてご教示頂けますでしょうか。	構造物掘削における親杭および腹起しの仮設材運搬費については、割掛対象項目とお考えください。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
21	8月7日	特記仕様書	29～31	26－4 構造物掘削 特殊部B1 特殊部B2	グラウンドアンカー工の施工に当たり、アンカー用足場ならびに削孔機の据付・撤去および縦移動が必要になるものと考えております。これらの項目について、設計上見込んでいる数量をご教示頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
22	8月7日	共通仕様書 特記仕様書	共通仕様書8-9、10 特記仕様書34、35	共通仕様書8－4鉄筋工 特記仕様書26-10鉄筋工	鉄筋工については、令和7年7月の土木工事積算基準を適用する場合、鉄筋加工・組立費は国土交通省の物価資料等掲載の市場単価を採用することとされています。 しかし、国土交通省では令和8年度より、鉄筋工およびガス圧接工について市場単価方式を廃止し、標準歩掛方式へ移行したことに伴い、令和8年4月以降は物価資料への市場単価の掲載がなくなっています。 本案件においては、「令和8年度 東日本高速道路株式会社 土木工事積算基準 改定概要」に公表されている標準歩掛を準拠して積算するのか、あるいは令和8年冬号掲載の市場単価を採用するのか、ご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号2)のとおりです。
23	8月7日	特記仕様書	44～46	26－19 軽量盛土工B1	軽量盛土工 B1の区分内容に、「コンクリート床版には…溶接金網φ6mm@150×150…を含む」と記載されています。 一方、設計図(工事用道路)図番47/107に記載されている「軽量盛土 材料表」では、コンクリート床版に「鉄筋 D13－150×150」の記載となっており、また図番48/107のコンクリート床版詳細図においてもD13@150の鉄筋が配置されていることを確認しております。 このため、溶接金網φ6mmまたはD13のどちらを設計条件としているかご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号4)のとおりです。
24	8月7日	金抜設計書	9	97 特-(3)軽量盛土工 B1	金抜設計書において、軽量盛土工 B1 の数量および単位は「719 m2」と記載されています。 一方、設計図(工事用道路)図番47/107に記載されている「軽量盛土 材料表」によると、軽量盛土工 B1 に該当すると考えられるコンクリート床版(t=150mm)の数量は4, 642. 6m2であり、また床版コンクリート B2－1 の数量は719. 4m3となっています。 このため、金抜設計書に記載されている軽量盛土工 B1 の数量および単位について、設計図との整合が取れていないものと思われま す。 つきましては、軽量盛土工 B1 に係る数量および単位についてご確認いただき、ご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号3)のとおりです。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
25	8月7日	特記仕様書	46～49	26－20 工事用仮橋 基礎ぐいN 設置 基礎ぐいR 設置	設計図(工事用仮橋・中野川橋)図番3/52、および設計図(工事用仮橋・六郎次川橋)図番2/37に記載されている「設計条件」では、杭の施工方法はプレボーリング工法とされています。 一方で、国土交通省の標準積算におけるプレボーリング工法の適用範囲は、鋼材サイズがH－350まで、かつ平均N値50までと認識しております。 本案件においては、基礎ぐいがH－400であり、施工地盤には軟岩層が含まれることから、平均N値が50を超えるものと考えられます。そのため、標準積算上はプレボーリング工法の適用範囲外になると思われます。 つきましては、本工事における基礎ぐいの施工方法については、プレボーリング工法以外の工法を想定しているものと理解してよろしいでしょうか。併せて、想定している基礎ぐいの施工方法をご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号17)のとおりです。
26	8月7日	特記仕様書	49～51	26－21 仮設物設置・撤去工	仮設物の設置について、材料は「購入品」となっておりますが、購入品(仮設防護柵、目隠し板A、目隠し板B)は新品購入または中古品購入のどちらに該当しますでしょうか。	仮設防護柵は中古品、目隠し板A・目隠し板Bについては新品となります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
27	8月7日	特記仕様書	49～51	26－21 仮設物設置・撤去工	仮設防護柵 設置につきましてその資材は購入品とあります。更に関連して割掛対象表参考内訳書には仮設材等(仮設防護柵等)の運搬に要する費用として共通仮設費用の計上と内訳数量として運搬距離138km(片道)が掲載されております。積算基準上の県庁所在地とは異なると思われるのでその場所についてご教示頂けますでしょうか。	入札公告1「質問に関する注意事項」に記載のとおり、割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けておりません。
28	8月7日	特記仕様書	40	26－16 交通保安要員	交通保安員の配置時間(交通監視員9:00～17:00及び交通誘導警備員B 8:00～17:00)について、作業時間と記載されています。この時間は、「実作業時間」を示すものと理解してよろしいでしょうか。 あるいは、休憩時間を含む「拘束時間」を示すものか、ご教示頂けますでしょうか。	特記仕様書に示す作業時間は配置の開始時間と終了時間を示すものです。休憩はこの時間帯内において、適切にとっていただき、その際の交代要員については表に示すとおり不要です。なお、交通誘導警備員Bの作業時間については、8:30～16:30となります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
29	8月7日	特記仕様書	46～49	26－20 工事用仮橋	工事用仮橋の単価表に関連する割掛工事費には、工事用機械分解組立費としてクローラークレーン200t吊1台が計上されています。工事用仮橋の上下部工の施工全て(基礎ぐいも含む)に使用する施工機械については、クローラークレーン200t吊と想定しているものと理解してよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
30	8月7日	特記仕様書	32	26－5 盛土工	盛土材料は、他工事流用土(トンネルずりC級)であり、運搬に関する記載がありません。他工事から盛土場所まで直接搬入され、本工事で積込・運搬作業は含まれない、と考えてよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
31	8月7日	特記仕様書	29～31	26－4 構造物掘削	掘削土仮置場①～④へ運搬する際は、仮置きのみしか記載されていませんが、敷均し、締固め、整形などの作業は含まれない、と考えてよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
32	8月7日	特記仕様書	29～31	26－4 構造物掘削 普通部B2	既設仮栈橋A1・A2橋台の掘削、埋戻しとありますが、図面・数量をご提示頂けますでしょうか。	設計図(橋梁下部工・六郎次川橋)62/63六郎次川橋 撤去復旧計画図(その2)に記載のとおりです。
33	8月7日	特記仕様書	29～31	26－4 構造物掘削 普通部C1	対象掘削土の土質区分をご教示頂けますでしょうか	土砂Eを想定しております。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
34	8月7日	特記仕様書	29～31	26－4 構造物掘削 普通部C1	工事用道路 東 軽量盛土工施工箇所におけるトータル掘削量2,833m ³ について、すべてをまず本線内盛土場①に運搬し、その後、本線外盛土場①に再運搬するのではなく、一部を本線内盛土場①に運搬し、残りを本線外盛土場①に運搬する、と考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
35	8月7日	特記仕様書 設計図(工事用道路)	特記仕様書33 設計図30/105	26－8 用排水構造物工	用排水管 P(Po－B)・φ0.20(Sd-B) の高密度ポリエチレン管の径について、標記ではφ200となっていますが、図面の寸法表ではD＝300となっています。どちらが正かご教示頂けますでしょうか。	設計図(工事用道路)30/105の寸法表が誤っております。上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
36	8月7日	金抜設計書	5	54 8-(3)鉄筋B	SD490 D32の単価について、物価資料に掲載がないため、材料単価を公表頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
37	8月7日	金抜設計書	5	57 8-(3)鉄筋Y	鉄筋かご組立用の固定用金具は含まれている、と考えてよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
38	8月7日	設計図(工事用道路)	51/105	プレキャスト防護柵基礎	標準品(H=480、W=800、L=2000)については材料単価を公表頂ける予定ですが、工事用道路右側に設置される3種類の「短切(製品長＝1500)」についても材料単価を公表頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
39	8月7日	特記仕様書	37、38	26－14 構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し(TypeA・B)、アスファルト舗装版取壊し(TypeA)には、取壊したガラの運搬費・処分費が含まれている、と考えてよろしいでしょうか。	土木工事共通仕様書18-12-5支払に示すとおりです。
40	8月7日	特記仕様書	41、42	26－17 立木伐採工	伐採材の単位体積重量(積算上で使用されているもの)をご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号15)のとおりです。
41	8月7日	特記仕様書	41、42	26－17 立木伐採工	除根の運搬費・処分費は協議対象、と考えてよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
42	8月7日	特記仕様書	41、42	26－17 立木伐採工	伐採後の整地は含まれる、と考えてよろしいでしょうか。	整地は不要と想定しています。
43	8月7日	特記仕様書	42、43	26－18 撤去工	撤去する防雪柵の図面を提示していただけないでしょうか。	設計図(工事用道路)63/105に記載のとおりです。
44	8月7日	特記仕様書	46～49	26－20 工用仮橋	3種類のプレガーター材・中央主桁の材料単価が公表される予定ですが、その単価には、沓座・固定ブロック・可動ブロック・横構・対傾構・添接板・覆工板止金具などが含まれている、と考えてよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
45	8月7日	特記仕様書 設計図 (工用仮橋・中野川橋)	特記仕様書46～49 設計図1/52	26－20 工用仮橋	油圧ジャッキ KOP－1230(H350)の材料単価について、物価資料に掲載がないため、材料単価を公表頂けますでしょうか。	参考積算条件書(その2)でお示しします。
46	8月7日	特記仕様書 設計図 (工用仮橋・中野川橋)	特記仕様書46～49 設計図1/52	26－20 工用仮橋	H形鋼 H500×500×25×25の材料単価について、物価資料に掲載がないため、材料単価を公表頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
47	8月7日	特記仕様書	46～49	26－20 工用仮橋	基礎ぐい打設時に使用する定規材の設置撤去費用(支柱含めて)は含まれているか、ご教示頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。なお、当回答書(番号17)のとおりに、ダウンザホール工法となります。
48	8月7日	特記仕様書	46～49	26－20 工用仮橋	傾斜地および高所での施工となりますが、足場工は含まれているか、ご教示頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
49	8月7日	特記仕様書	49～51	26－21 仮設物設置・撤去工	購入品の仮設防護柵・目隠し板A・目隠し板Bの材料単価について、物価資料に掲載がないため、材料単価を公表頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。なお、当回答書(番号26)のとおりに、仮設防護柵は中古品、目隠し板A・目隠し板Bは新品となります。
50	8月7日	特記仕様書	49～51	26－21 仮設物設置・撤去工	金抜設計書 番号31 用排水溝 Bf・0.65・0.415を本設として設置することになっていますが、仮設物設置撤去工で使用したものは本設には転用はしない、と考えてよろしいでしょうか。	用排水溝 Bf・0.650・0.415は仮設物設置撤去工で使用したものを転用するものとなります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
51	8月7日	特記仕様書	51	26－22 仮設標識工	仮設標識(3種類)の材料単価について、物価資料に掲載がないため、材料単価を公表頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
52	8月7日	特記仕様書	53、54	26－24 道路拡幅工	プレキャストボックスカルバートの下部に設置するプレキャスト基礎版(0.1*1.46*2.0)の材料単価について、物価資料に掲載がないため、材料単価を公表頂けますでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
53	8月7日	特記仕様書	32	26－5 盛土工	盛土工Bにおける他工事からの受け入れ土量(日何m3)をご教示頂けますでしょうか。	必要分受入可能とお考えください。
54	8月7日	設計図 (工用仮橋・中野川橋)	設計図 1/52	中野川橋 仮橋 H400*400*13*21	数量総括表で、下部工A(支柱)と基礎ぐいの合計で415.896t(215.860t+200.036t)計上されています。これを延長で考えると、単位重量0.172t/mとして、2418m(1255m+1163m)になります。杭橋脚として扱うH400*400の延長は1163m、と考えてよろしいでしょうか。 ※設計図(断面図)から推測すると、下部工支柱延長=498m(85t)、杭橋脚延長=1921m(330t、打設長=1407m)程度になると思われるますが、ご確認頂けますでしょうか。	当回答書(番号18)のとおりで。
55	8月7日	設計図 (工用仮橋・六郎次川橋)	設計図 1/37	六郎次川橋 仮橋 H400*400*13*21	数量総括表で、下部工A(支柱)と基礎ぐいの合計で165.292t(106.382t+58.910t)計上されています。これを延長で考えると、単位重量0.172t/mとして、961m(618.5m+342.5m)になります。杭橋脚として扱うH400*400の延長は342.5m、と考えてよろしいでしょうか。 ※設計図(断面図)から推測すると、下部工支柱延長=28m(5t)、杭橋脚延長=933m(160t、打設長=648m)程度になると思われるますが、ご確認頂けますでしょうか。	当回答書(番号18)のとおりで。
56	8月7日	設計図 (工用仮橋・中野川橋)	設計図 2～6/37	断面図	KP7断面図について、側面図では「1列」しかありませんが、断面図が「2列分(KP6側、KP8側)」存在します。どちらの断面図が「正」かご教示頂けますでしょうか。	KP7は仮橋の幅が10mと8mの変化点のため、杭及び下部工は同じですが、上部工の幅が2パターン必要となるため、どちらも正となります。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
57	8月7日	割掛対象表参考内訳書	2	作業ヤード整備費	工事用道路 西入口部ー27.9m2 敷き鉄板設置のみ」と記載されていますが、材料費は購入品(中古品)で、運搬費は本項目で計上する、と考えてよろしいでしょうか。	入札公告1「質問に関する注意事項」に記載のとおり、割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けておりません。
58	8月7日	参考積算条件書(その1)	2	EPSブロック	公表されるEPSブロックについて、この単価には緊結金具は含まれておらず別途計上されている、と考えてよろしいでしょうか。	ご認識のとおりです。
59	8月7日	特記仕様書	38、39	26ー15交通規制工	規制時間が8:30～17:30となっており、規制前後の準備、移動を考慮すると、1日の標準労働時間を超えます。積算基準(25-109労務費の算出)から判断すると、2交替制になると思われますが、設計上の考え方をご教示頂けますでしょうか。	共通仕様書19-3-5支払に示すとおりです。
60	8月17日	設計図(工事用仮橋・中野川橋)	1/52	中野川橋 仮栈橋 ・下部工A H400*400*13*21 ・基礎ぐい H400*400*13*21	数量総括表では、下部工A(支柱)と基礎ぐいの合計で415.896t(215.860t+200.036t)計上されております。この数量は基礎ぐい127本の質量と一致するため、当該127本の杭打設数量には215.86t分のH形鋼が含まれているものと理解しております。 つきましては、H形鋼 H400×400×13×21の材料費及び設置費について、以下の①または②のどちらの考え方となっておりますでしょうか。 ①・H400×400×13×21(215.860t)の設置費は、下部工Aの単価項目に計上する。 ・H400×400×13×21(200.036t)は、杭橋脚総延長1,163mlに対する打込みとして基礎ぐいの単価項目に計上する。 ・材料費については、それぞれの該当単価項目に計上する。 ②・H400×400×13×21(215.860t)の材料費は、下部工Aの単価項目に計上する。 ・H400×400×13×21(215.860t+200.036t)は、127本の杭打込みとして基礎ぐいの単価項目に計上する。 ・200.036t分の材料費についても基礎ぐいの単価項目に計上する。 上記①、②のいずれにも該当しない場合は、各単価項目に計上すべき数量をご教示頂けますでしょうか。 また、①に該当する場合は、基礎ぐいの打込み長及び打込み本数についても併せてご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号18)のとおりです。
61	8月17日	設計図(工事用仮橋・六郎次川橋)	1/37	六郎次川橋 仮栈橋 ・下部工A H400*400*13*21 ・基礎ぐい H400*400*13*21+E66	数量総括表では、下部工(支柱)と基礎ぐいの合計で165.292t(106.382t+58.910t)計上されております。この数量は基礎ぐい69本の質量と一致するため、当該69本の杭打設数量には106.382t分のH形鋼が含まれているものと理解しております。 つきましては、H形鋼 H400×400×13×21の材料費及び設置費について、以下の①または②のどちらの考え方となっておりますでしょうか。 ①・H400×400×13×21(106.382t)の設置費は、下部工の単価項目に計上する。 ・H400×400×13×21(58.910t)は、杭橋脚総延長342.5mに対する打込みとして基礎ぐいの単価項目に計上する。 ・材料費については、それぞれの該当単価項目に計上する。 ②・H400×400×13×21(106.382t)の材料費は、下部工の単価項目に計上する。 ・H400×400×13×21(106.382t+58.910t)は、69本の杭打込みとして基礎ぐいの単価項目に計上する。 ・58.910t分の材料費についても基礎ぐいの単価項目に計上する。 上記①、②のいずれにも該当しない場合は、各単価項目に計上すべき数量をご教示頂けますでしょうか。 また、①に該当する場合は、基礎ぐいの打込み長及び打込み本数についても併せてご教示頂けますでしょうか。	当回答書(番号18)のとおりです。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
62	8月17日	設計図(参考図)	1、4/14	親杭施工	中野川橋A1橋台、六郎次川橋A1橋台の親杭について、打設時は、150tクローラークレーンを想定されていると思われますが、引抜時も作業半径を考慮して、150tクローラークレーンを想定されている、と考えてよろしいでしょうか。また、共通仮設費の運搬費におけるクレーンについて、打設時の150tクローラークレーンのみ計上されており、引抜時のクレーンが計上されていないと思われるため、併せてご確認いただけますでしょうか。	引抜時のクレーンは150tクローラークレーンを想定しておりますが、割掛対象参考内訳書の工事用建設機械分解組立(下部工)への反映がされておりました。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
63	8月17日	設計図(橋梁下部工・中野川橋)	50/57	親杭施工	中野川橋A1橋台の親杭打設において、土質柱状図が不鮮明であるため、最大N値が読み取ることができません。想定されている最大N値をご教示頂けますでしょうか。	設計図(橋梁下部工・中野川橋)50/57に示すとおり、中野川橋A1橋台の親杭打設の最大N値は34と想定しております。
64	8月17日	設計図(橋梁下部工・六郎次川橋)	54/63	親杭施工	六郎次川橋A1橋台の親杭打設において、土質柱状図が不鮮明であるため、最大N値が読み取ることができません。想定されている最大N値をご教示頂けますでしょうか。	設計図(橋梁下部工・六郎次川橋)54/63に示すとおり、六郎次川橋A1橋台の親杭打設の最大N値は88と想定しております。
65	8月17日	設計図(工事用道路)	47/105	コンクリート床版	設計図に、コンクリート床版の数量内訳(床版コンクリート、型枠、鉄筋、溶接鉄筋、目地材)が記載されていますが、積算方法について、以下のどちらを採用されているかご教示頂けますでしょうか。 ①設計図で提示されている項目を個別に積算 ②国交省の積算基準(発砲スチロールを用いた超軽量盛土工)における「コンクリート床版」を使用し、上記内訳内容を含んだ施工パッケージによる積算	積算に関する質問についてはお答えできませんので、必要な費用を計上願います。